

## 1. 日本政府の立場

### 1) ウクライナ政権支持、G7に同調

- ・ロシアに対する経済制裁：海外資産差押、事業撤退や貿易制限、SWIFT 締め出し等
- ・ウクライナ支援：経済支援  
難民支援と受入れ

### 2) 対露外交

- ・外交官追放
- ・「北方領土」交渉及びビザなし交流打ち切り（露側）、日本側は「不法占拠」復活
- ・例外としての鮭・鱒漁業の継続

## 2. 政府・自民党の動向

### 1) 「国家安全保障戦略」改訂問題

- ・宮沢博行（党国防部会長）：「核共有」論反対、非核3原則堅持 『東京』3月19日
- ・小野寺五典（党安保調査会長）：「反撃能力」（指揮統制機能も） 『毎日』4月22日  
防衛費 GDP 2%実現 cf. ドイツは「前のめり」  
武器輸出3原則の緩和

### 2) 岸田「新時代リアリズム」外交：外務省重視に復帰

日本の独自性を出せるか

## 3. 言論界の動向

### 1) ウクライナ問題「三つの立場」①ウクライナ支援・ロシア非難：保守主導？

②「どっちもどっち」論

③ロシア擁護（米国が元凶）論

### 2) 防研・防大関係者はリアリズムに徹している

- ・兵藤慎治、高橋杉雄ら／所内研究員座談会（3.17-4.4 6回）、『防衛研究所紀要』
- ・広瀬佳一「NATOの変貌とエスカレーション・リスク」『世界』臨時増刊  
cf. 河野克俊（元統幕議長）：安保戦略論議に「政治家は作戦レベルまで口を出すな」  
今後の課題は「北方防衛」（短絡的） 04.20 プライム  
\*リベラル・左派は「軍事」を避けてきたが、保守・右派の独断場にすべきではない！

### 3) 外交官ら

- ・東郷和彦「和平が大事。日本はアメリカに『頭を冷やせ』と言うべき」『毎日』04.22.
- ・平和構想研究会「戦争を終わらせるために」『世界』臨時増刊  
\*重要なことは、浮き足立つのではなく（明日にでも中国の台湾侵攻があり、ロシア軍の北海道上陸があるわけではない）、停戦実現に日本政府や国際世論を動かす市民の力ではないか。野党もしっかりせよ。 cf. 白眞勲参院議員（立民）YouTube（日付失念）

<参考>ウェブ雑誌『現代の理論』近刊・拙稿「ロシア・ウクライナ戦争：どう見るか、私たちに何が出来るか」